

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 209 号	氏名	ジャン インサン 張 仁山
学位審査委員	主査 原 宜興 副査 六反田 篤 副査 村田 比呂司		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、治療前後の歯列模型形状データ重ね合わせの基準部位として治療前後の口蓋ヒダ及び口蓋粘膜の移動動態の解析を行い、信頼性の高い重ね合わせ法を確立し、矯正治療の評価に応用したもので、そのオリジナリティならびに重要性は極めて高く、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>歯列模型を光学式三次元形状計測装置を用いて、形状データを取り込んだ後、3D-CG ソフトウェアを使い、三次元画像構築を行った。治療中に変位量の少ない口蓋部位を重ね合わせの基準とし、3次元歯列模型形状データ重ね合わせ法を確立した点で、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果から、矯正治療前後の3次元歯列模型形状データを第3口蓋ヒダの内側点および口蓋粘膜後方で重ね合わせることにより、歯の移動動態をより正確に解析することが可能となった。よって、今後の矯正治療前後の歯の移動量や動態の評価のために大いに貢献することが期待される。</p> <p>以上のように本論文は矯正学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			